

おはようございます。
長崎大学人、河野茂です。

「学長、あと1年の任期ですね、心境は？」
と、聞かれることが最近よくあります。おそらく、質問者は、過去を振り返った私が、
「そうですね、いろいろありましたね。最後までしっかり頑張ります」と、答えることを望
んでいるのでしょう。
しかし、私の心境は、正直そのようなものではありません。

一言でいうと
「百尺竿頭進一步」(ひゃくしゃくかんとうしんいっぽ)。

解釈はいろいろあるのですが、これは禅の言葉です。
＜(崖に突き出た)百尺(約30メートル)の竿(さお)の先に立っても、更に一步先に足
を進める気力を持って前に進め。勇気を出して一歩進めば、見えてくる世界が変わる。
自らをすべてさらけ出し、進んだ先は、自我を超えた、利他の心が現れる＞
というのが、私の解釈です。
利他とは、他人に利益を与える、他人の幸福を願う、ということです。
私の心境は、勇気を振り絞り最後の一步を進み、「長崎大学の未来の発展を願う」、というも
のでしょうか。

皆さん、私は、いつも未来を見つめています。
あと、1年であろうが、1日であろうが、長崎大学のために「百尺竿頭進一步」。

これで、今回の私からの発信は終わります。
みなさんのご意見を待っています。
定年が近い方、新入職員の方、それぞれの長崎大学の思いを聞きたいです。
どなたでも、気軽に様々なテーマでいいので、建設的、前向きなメールをください。
楽しみにしております。

11月の上旬には、5名の先生下記のテーマで配信しようと思います。
◎新しい長崎の展望や長崎大学でつながる新しい世界は、才木邦夫理事
◎長崎大学の＜価値、価格＞の問題は、波多順子監事
◎経済的視点から見た世界の今の動向や本学の立ち位置などは、田中健一理事
◎新型コロナウイルスに対するワクチンの動向 森内浩幸教授
◎新型コロナウイルスの世界的な動向、いつアフターコロナとなるのか？ 金子修教授